

2017年度事業報告書

(2017年4月1日～2018年3月31日)

特定非営利活動法人まちづくりスポット



1-1 交流スペース 自主企画

市民が気軽に立ち寄れる交流スペースを運営。
まちづくりスポットの活動やNPO団体の活動を周知する。



▲まちスポ飛騨高山利用団体交流会の様子



▲本とあそぼう 全国訪問おはなし隊の様子



▲雛様かざりワークショップの様子

●事業概要

交流スペースまちスポ飛騨高山の周知や、まちづくりスポットの活動、まちスポ飛騨高山利用会員とイベントを開催し、訪れた人に市民活動に関心をもってもらうきっかけとする。

●主催イベント内容

	日時／場所	タイトル／内容	参加数
①	2017年4月16日(日) 13:30～15:00 まちスポ飛騨高山交流スペース	『まちスポ飛騨高山利用会員交流会』 まちスポ飛騨高山利用会員が集まり、団体の活動内容やどんな想いで活動を行っているかを発表。今後の取り組みについての意見交流も行った。	8名
②	2017年9月13日(水) 10:00～11:05 フレスポ飛騨高山駐車場 まちスポ飛騨高山交流スペース	『本とあそぼう 全国訪問おはなし隊』 550冊以上の絵本を載せて全国を巡回する「おはなし隊」。絵本の自由閲覧と読み聞かせを行い、子ども達が本を身近に感じるきっかけ作りを行った。	49名
③	2018年3月7日(水) 10:30～11:30 ワークショップ：ピュア高山3階 展示：まちスポ飛騨高山交流スペース	『ぼんぼり型ミニお菓子バックと雛様飾りをつくろう』 NPO法人飛騨高山わらべうたの会と開催。親子向け雛様飾りワークショップを行った。壁飾りは「飛騨高山雛まつり」のイベント期間中、屋内スペースに展示した。	24名

●評価と課題

2017年度は、利用会員を巻き込んだイベントを開催した。それぞれの団体の活動内容や願いを共有する良いきっかけとなったが、団体同士のコラボや活動のサポートに繋がられなかったことが課題。2018年度は、交流スペースを利用される方の声をひろい、より心地よく利用していただけるようにしたい。また、まちスポスタッフだけでなく、利用会員とともに盛り上げる交流スペースを目指したい。

1-2 交流スペース 利用登録団体の活動

市民活動促進のため、交流スペース「まちスポ飛騨高山」の場を提供し、地域の交流が生まれる活動を応援



▲多世代の交流「ボードゲームスポット」



▲女性サークル「心と体の健康応援イベント」



▲ワークショップ「小物入れ作り」

●事業概要

飛騨地域の市民活動の発展を目指し、まちづくりスポットが管理運営する、商業施設内の交流スペースの貸館を行う。また、利用団体が交流スペースを利用するだけでなく、活動が広がるために広報や運営の相談も行う。

●2017年度利用団体登録一覧（新規26件（○囲い）・継続19件）

	団体名	活動分野		団体名	活動分野
1	生協コープぎふ飛騨支所	保健・医療・福祉	24	ナカニワ	子育て支援
2	NPO法人 ムラのミライ	国際協力	25	ハンドメイド雑貨のお店 soror	経済活動活性化
3	(株) GOAHEAD WORKS	文化・芸術・スポーツ	26	(株) トピック	経済活動活性化
4	アニマルレスキュー飛騨	保健・医療・福祉	27	(株) 新東通信	経済活動活性化
5	(公社)認知症の人と家族の会 岐阜支部	保健・医療・福祉	28	こころ	文化・芸術・スポーツ
6	飛騨産業 (株)	文化・芸術・スポーツ	29	NPO法人ほのぼの朝日ネットワーク	保健・医療・福祉
7	NPO法人活エネルギーアカデミー	環境保全	30	高山市役所選挙管理委員会事務局	まちづくり
8	高山市民防災研究会	災害救援	31	NPO法人泉京・垂井	まちづくり
9	コープぎふ・おたがいさまひだ	保健・医療・福祉	32	まつみ版画	文化・芸術・スポーツ
10	白川郷村塾	環境保全	33	もふっこひだ	保健・医療・福祉
11	Amaranth(アマランス)	保健・医療・福祉	34	古いビュッフェ	文化・芸術・スポーツ
12	てづくりマーケット	経済活動活性化	35	まちやこの隠れ扉	子育て支援
13	NPO法人飛騨高山わらべうたの会	子育て支援	36	アキヨガ	文化・芸術・スポーツ
14	童心・飛騨高山太鼓団	文化・芸術・スポーツ	37	NPO法人さんしょうの会	保健・医療・福祉
15	ナリス化粧品 船渡販売所	男女共同参画	38	合同会社ウッドビルダー	環境保全
16	クラフト&カフェ 木の香	文化・芸術・スポーツ	39	飛騨アニメファンイベント実行委員会	まちづくり
17	ぼむるきっず	子育て支援	40	CODE for GIFU	まちづくり
18	すまでぎ-Smile Design Project-	文化・芸術・スポーツ	41	助産ケアルーム 和み	子育て支援
19	mino*	男女共同参画	42	徳田蒼春書道教室	文化・芸術・スポーツ
20	NPO法人りびんぐ	保健・医療・福祉	43	まんまるヨガ	文化・芸術・スポーツ
21	飛騨高山ボードゲームの会	文化・芸術・スポーツ	44	ウイット企画舎	文化・芸術・スポーツ
22	(株) 吉城コンピュータ 高山店	科学技術振興	45	NPO法人ぎふハチドリ基金	NPO助言・支援
23	和み&OHANA	男女共同参画			

●評価と課題

利用会員登録数が過去最高となったが、2016年度利用会員39団体のうち2017年度の継続団体は19件と、継続数が伸びなかったことが課題。交流スペース利用後のヒアリングが十分でなかったことが考えられる。2018年度は利用会員が継続して交流スペースを利用できるよう、仕掛けていきたい。

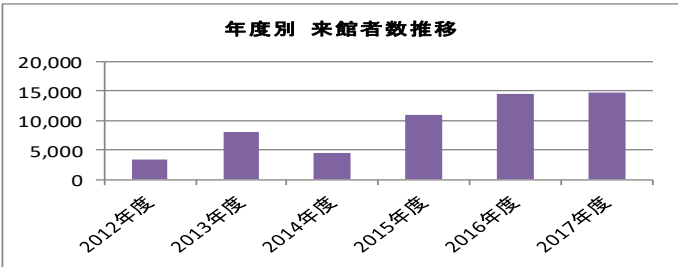
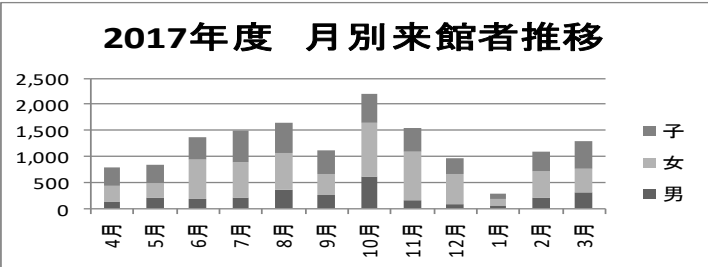
1-3 交流スペース来館者数

■月別来館者数 (目標15,000人以上)																	(人)		
月	開館 日数	午前(9-12)				午後(12-16)				夕方(16-18)				総計					前年比
		男	女	子	計	男	女	子	計	男	女	子	計	男	女	子	計		
4月	26	43	112	101	256	71	143	160	374	28	49	93	170	142	304	354	800	-148	
5月	26	62	100	101	263	106	157	170	433	34	39	72	145	202	296	343	841	-321	
6月	26	73	225	121	419	79	386	209	674	42	130	94	266	194	741	424	1,359	-420	
7月	27	60	297	190	547	101	308	259	668	40	76	153	269	201	681	602	1,484	442	
8月	26	155	313	232	700	173	343	283	799	23	48	86	157	351	704	601	1,656	853	
9月	26	87	173	141	401	119	192	215	526	46	48	93	187	252	413	449	1,114	195	
10月	26	302	491	286	1,079	266	452	225	943	58	84	33	175	626	1,027	544	2,197	966	
11月	26	52	344	155	551	75	483	246	804	40	97	53	190	167	924	454	1,545	-503	
12月	23	30	238	107	375	60	314	159	533	7	21	22	50	97	573	288	958	-459	
1月	23	35	45	33	113	28	62	47	137	10	9	12	31	73	116	92	281	-887	
2月	25	85	211	147	443	114	241	204	559	24	31	33	88	223	483	384	1,090	-72	
3月	27	109	159	181	449	163	238	258	659	47	49	85	181	319	446	524	1,289	586	
計	307	1,093	2,708	1,795	5,596	1,355	3,319	2,435	7,109	399	681	829	1,909	2,847	6,708	5,059	14,614	232	

■1ヶ月あたりの平均来館者数																	(人)
平均	91	226	150	466	113	277	203	592	33	57	69	159	237	559	422	1,218	19

■1日あたりの平均来館者数																	(人)
4月	1.7	4.3	3.9	9.8	2.7	5.5	6.2	14.4	1.1	1.9	3.6	6.5	5.5	11.7	13.6	30.8	-5.7
5月	2.4	3.8	3.9	10.1	4.1	6.0	6.5	16.7	1.3	1.5	2.8	5.6	7.8	11.4	13.2	32.3	-10.7
6月	2.8	8.7	4.7	16.1	3.0	14.8	8.0	25.9	1.6	5.0	3.6	10.2	7.5	28.5	16.3	52.3	-13.6
7月	2.2	11.0	7.0	20.3	3.7	11.4	9.6	24.7	1.5	2.8	5.7	10.0	7.4	25.2	22.3	55.0	16.4
8月	6.0	12.0	8.9	26.9	6.7	13.2	10.9	30.7	0.9	1.8	3.3	6.0	13.5	27.1	23.1	63.7	32.8
9月	3.3	6.7	5.4	15.4	4.6	7.4	8.3	20.2	1.8	1.8	3.6	7.2	9.7	15.9	17.3	42.8	7.5
10月	11.6	18.9	11.0	41.5	10.2	17.4	8.7	36.3	2.2	3.2	1.3	6.7	24.1	39.5	20.9	84.5	38.9
11月	2.0	13.2	6.0	21.2	2.9	18.6	9.5	30.9	1.5	3.7	2.0	7.3	6.4	35.5	17.5	59.4	-29.6
12月	1.3	10.3	4.7	16.3	2.6	13.7	6.9	23.2	0.3	0.9	1.0	2.2	4.2	24.9	12.5	41.7	-17.3
1月	1.5	2.0	1.4	4.9	1.2	2.7	2.0	6.0	0.4	0.4	0.5	1.3	3.2	5.0	4.0	12.2	-36.5
2月	3.4	8.4	5.9	17.7	4.6	9.6	8.2	22.4	1.0	1.2	1.3	3.5	8.9	19.3	15.4	43.6	-4.8
3月	4.0	5.9	6.7	16.6	6.0	8.8	9.6	24.4	1.7	1.8	3.1	6.7	11.8	16.5	19.4	47.7	21.7
平均	3.6	8.8	5.8	18.2	4.4	10.8	7.9	23.2	1.3	2.2	2.7	6.2	9.3	21.9	16.5	47.6	0.9

■年度別来館者数推移 ※2012年度は2012年11月～2013年3月の4か月間									
年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
計	3,355	8,030	4,392	10,816	14,382	14,614			



■時間帯別来比率									
年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
午前	—	40.47%	36.63%	35.07%	35.14%	38.29%			
午後	—	48.54%	51.05%	51.71%	50.43%	48.65%			
夕方	—	10.98%	12.32%	13.22%	14.43%	13.06%			

■男性・女性・子ども別来比率									
年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
男性	—	21.66%	29.55%	17.34%	17.96%	19.48%			
女性	—	47.98%	50.71%	48.24%	46.99%	45.90%			
子ども	—	30.36%	19.74%	34.25%	35.05%	34.62%			

■2017年度来館者数振り返り・課題

振り返り

お野菜マルシェや利用会員によるてづくり品の販売イベントの開催により、昨年度に比べ、7月～10月の来館者数が増加した。11月～12月は大雪の影響もあり、来館者数が大幅に減少した。

男性でも立ち寄れるイベントが開催されたため、男性の利用率が伸びた。

課題

冬期～春期にかけての対策が必要。利用会員、サポーターの交流スペース利用促進を図る。

また、イベントのない日は気軽に立ち寄れる場所であることを広める必要がある。

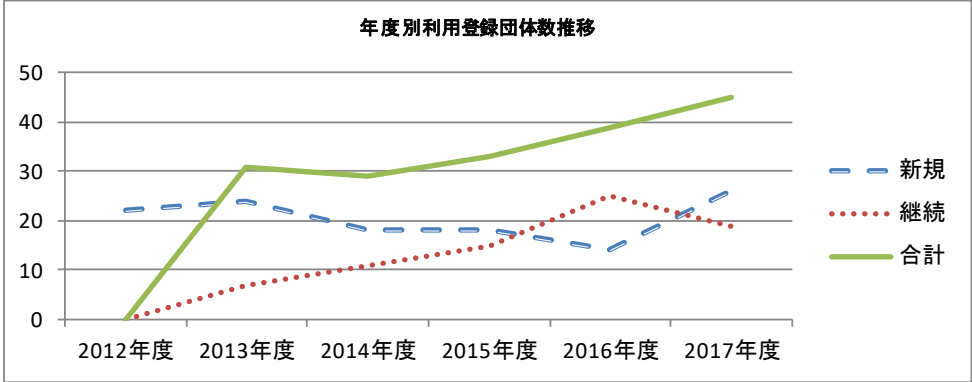
1－4 交流スペース利用登録団体推移

■ 月別利用団体登録件数 (目標:新規13団体、継続27団体) (団体)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
計	5	4	4	1	2	3	5	4	8	4	2	3	45	6
新規	2	1	4	0	2	1	3	2	4	3	2	2	26	12
継続	3	3	0	1	0	2	2	2	4	1	0	1	19	-6

■ 年度別利用登録団体数推移 ※2012年度は2012年11月～2013年3月の4か月間

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
新規	22	24	18	18	14	26			
継続	0	7	12	15	25	19			
合計	22	31	30	33	39	45			
未継続	—	15	19	15	8	20			



■ 分野別登録団体数 ※2012年度は2012年11月～2013年3月の4か月間

分野	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
保健・医療・福祉	5	8	3	5	3	9	
社会教育	1	1	1	1	0	0	
まちづくり	1	3	1	1	2	4	
観光振興	0	0	0	0	1	0	
地域振興(農山漁村・中山間地)	1	2	0	1	0	0	
文化・芸術・スポーツ	4	7	4	5	12	13	
環境保全	1	2	1	2	2	3	
災害救援	0	0	1	2	2	1	
安全活動	0	0	0	0	0	0	
人権擁護・平和推進	0	2	0	0	0	0	
国際協力	4	2	2	3	2	1	
男女共同参画	1	3	5	6	4	3	
子育て支援	3	1	10	5	6	5	
情報化社会	1	0	0	0	0	0	
科学技術振興	0	0	0	0	1	1	
経済活動活性化	0	0	0	0	3	4	
雇用拡充支援	0	0	0	1	0	0	
消費者保護	0	0	1	0	0	0	
NPO助言・支援	0	0	1	1	1	1	
総計	22	31	30	33	39	45	

振り返り

個人事業主の新規登録が増加。
「介護のためのほっとする談話室」で繋がった団体の登録により、「保健・医療・福祉」の分野が増加した。

2-1 多世代に向けた交流の場づくり ①介護のためのほっとする談話室

介護で悩みを抱えた人に向けた
誰もが気軽に立ち寄れる、介護に役立つ情報を紹介する場



▲毎月テーマを変えたイベントを企画



▲介護用品の展示も行い、スタッフが説明

●事業概要

2017年度高山市より「家族介護者相談室」事業を受託。商業施設に位置するまちスポで介護談話室を定期開催することで、介護に関する情報発信と専門家への橋渡しを担う。予約不要、参加費無料。

●事業の成果

日程		テーマ	来場数
9月	15日（金）	介護用品の展示・用途に合わせたオムツ紹介	22名
	16日（土）		38名
	28日（木）		20名
10月	12日（木）	介護者交流会	18名
	13日（金）		19名
	23日（月）		6名
11月	15日（水）	ほっとする介護食の作り方	12名
	16日（木）		20名
	25日（土）		27名
12月	7日（木）	高齢者の口腔ケア	15名
	17日（日）		10名
	18日（月）		18名

- ◆開催場所 まちスポ飛騨高山
- ◆開催時間 10:00~15:00
- ◆実施期間 2017年8月17日~2018年3月31日

日程		テーマ	来場数
1月	11日（木）	症状にあったオムツの紹介	12名
	12日（金）		14名
	13日（土）		12名
2月	17日（土）	家庭できる簡単リハビリ&ストレッチ	8名
	18日（日）		25名
	19日（月）		12名
3月	7日（水）	薬剤師による投薬管理	22名
	8日（木）		15名

●評価と課題

町内の回覧でも広報ができ知られつつあるが、高山市が広域のため支所地域の方が来にくい。また地域により介護に対する意識の違いから他人事ととらえている方も多いため時間をかけて周知していく必要がある。

2-1 多世代の交流の場づくり ②新聞カフェ

インターネットだけでなく新聞からも情報収集を！ 新聞を使った多世代の意見交換会の開催

●事業概要

携帯電話やスマートフォンが1人1人に普及し、情報をインターネット媒体で取得することが多くなり新聞離れが増えている。新聞記者から若者を中心に新聞にふれる機会をつくりたいという相談を受け、新聞記事を読み意見交流をする新聞カフェを開催した。参加者は高校生から50代まで様々な世代が参加。意見交流することで関心のなかったニュースにふれる機会ができ、勉強になったという意見が多数出ていた。



▲高校生や大学生も参加してくれました。

●事業の成果

◆開催期間	①2017年6月18日 ②2017年7月13日	◆開催場所	まちスポ飛騨高山
◆参加者数	①9名 ②6名	◆協力	中日新聞高山支局

◆評価と課題 普段新聞を読まない方も多く参加してくれた。発案した新聞記者からもこれからは学校など地域でこうしたイベントをやりたいという要望もあり、2018年度は広げていくことも検討している。

2-2 子育てママに向けた交流の場づくり ママのための座談会

子育ての悩みや家庭環境、飛騨の子育て情報、仕事復帰についてなど お互いの経験と知恵、情報を交換！

●事業概要

子育て中の母親に向けて、社会とのつながりが出来て孤独を感じることがないように「自由に、安心して話せる場」を作ろうと始まったママのための座談会。知識だけでなく、それぞれの経験と知恵をシェアしあえるようにと2ヶ月に1回開催した。子育てにおける環境・子どもの月齢も様々な母親たちが、子育てエピソードを話しながら自由に意見交換・情報交換を図れる機会を設けた。



▲座談会の様子

●事業の成果

◆開催日時	2017年5月22日、7月24日、9月25日、11月27日	◆開催場所	まちスポ飛騨高山
◆協力講師	(第3回) りほりとみつく教室、(第4回) 高山消防署救急課	◆参加数	合計18名

◆評価と課題 現在の悩みや欲しい情報について共有しあうことで「話せて楽になった」「知りたかったことが知れてよかった」などの声をいただいた。2018年度はさらに充実した内容・必要とされる場になるよう、開催内容を検討していく。

2-3 若者を対象としたまちづくり ワールド・バー

若者がまちづくりに参加しやすいまちを目指し、20代・30代のまちに対する思いや意見を交換し合うこと目的に定期開催



▲グループごとに話し合い



▲高校生の参加も増えています

●事業概要

「地域のまちづくりを考える場で若者の意見を聞ける機会が少ない」という市民の声を受け、2013年度より継続的に実施する若者の意見交流の機会。「ワールド・バーin飛騨高山」と題し、2017年度は6回開催した。

	日時／場所	タイトル／内容	参加数（初）
1	2017年4月21日（金） 19:00～21:30	「題名のない吹奏楽座談会」	9名（6名）
2	2017年6月18日（日） 13:30～15:30	「なるほど！新聞カフェ」 協力者：坂本圭佑氏（中日新聞記者）	9名（5名）
3	2017年7月8日（土） 17:30～20:00	「高山に住む外国人とともに、住みよいまちを作るにはpart2」 協力者：丸山純平氏（高山市出身、岐阜大学4年生） 糸田恵子氏（岐阜県多文化共生推進員）	20名（15名）
4	2017年10月21日（土） 20:00～22:00	「高山市に就職したいと考える外国人留学生との交流会」 協力者：櫻本立楠氏（中国出身、高山市在住）	8名（3名）
5	2018年2月2日（金） 19:00～21:30	「移住者交流会」 協力者：岩塚久案子氏(NPO法人飛騨高山わらべうたの会代表) 平井祐樹氏（会社員）	18名（13名）
6	2018年2月11日（日） 18:00～20:30	「世界の家庭料理をつくって一緒に食べようの会」	15名（7名）

●評価と課題

2017年度は今までにまちスポやまちづくりに関心のなかった層と繋がることを中心とした企画を意識した。2015年度に開催した多文化共生というテーマを今年度は更に多くの人と意見交流すべく、内容を変えて3回開催し、合計43名参加。今後は参加だけでなく、企画や運営にも地域の人を巻き込んでいきたい。

2-4 地域産業活性化支援 ①ひだインターン留学

大学生のチカラを地域に活かす！学生が経営者の右腕となる実践型インターンシップを開催！

●事業概要

2017年度で第6期を迎えるひだインターン留学。大学のない飛騨地域では高校を卒業すると就職・進学で地元を離れる若者が多くいます。若者が帰ってきたい地域や職場づくりをしたいと実践型インターンシップであるひだインターン留学を行っています。第6期の今回は飛騨地域の旅館が受入れ先となりオリジナルのグルメガイドブックを作成するプロジェクトを学生が担当。結果を目指すことで企業・学生ともにメリットのあるインターンシップを行っています。



▲グルメガイドブックを作成した学生と若女将

●事業の成果

◆開催期間 2018年2月16日～3月29日の6週間

◆受入れ企業 株式会社本陣平野屋

◆参加学生数 2名

◆協力 飛騨信用組合

◆評価と課題 大学生を取り入れることによって、「時間も人手もなくつくることができなかった」ツールが完成したこと、社員が地域の飲食店を知るきっかけにもなった。一方で、企業の体制の課題などインターンシップを通して異なる課題も見えて来た。今後はヒアリングをしながら必要に応じて改善策を講じていきたい。

2-4 地域産業活性化支援 ②ワーキングホリデーin飛騨高山

人材不足に悩む農家。大学生対象の滞在型農業研修を開催し、飛騨に愛着を持ち、将来の担い手となる人材の創出。

●事業概要

農業の盛んな飛騨地域で、後継者づくりと飛騨に関心のある若者を育てたいと3年前から農業研修「ワーキングホリデーin飛騨高山」に取組んでいる。2017年度は前年度から1農家増えた7農家が受入れ先となった。ようやく年間スケジュールも整い、募集を早めたところ前年の約2倍の69名の大学生が参加。学生たちは農業体験の他、地域の人との意見交流や高山市街地の観光なども楽しみ、飛騨の暮らしを体験している。



▲トマトの収穫を体験中の学生

●事業の成果

◆開催期間 2017年8月1日（月）～9月30日（金）

◆開催場所 高山市内トマト農家7軒

◆開催頻度 開催期間の1週間を8クール

◆参加学生数 69名

◆主催 飛騨高山受入れ農家組合

◆共催 高山市／NPO法人まちづくりスポット

◆評価と課題 69名もの参加があり、農家さんも受入れ体制が整ってきた。地域内でも認知が広がり、トマト農家以外からも受入れをしたいという要望が出ている。

2-4 地域産業活性化支援 ③飛騨高山旅館の仕事学ぶ旅

飛騨に関心のある学生を増やすきっかけづくり。 1泊2日に企業見学ツアーを開催。

●事業概要

岐阜県より受託事業。都市部に住む大学生に向けて、担い手不足が顕著な旅館業に興味を持ってもらうことを目的に企業見学会を開催。高山市内の旅館2社、飛騨市内の旅館1社の他に各行政と地域のスーパーにも協力をいただき見学をした。



▲お客様体験しおもてなしの高さを実感



▲郷土料理づくりも体験しました

●事業の成果

◆開催期間	2017年9月14日（木）～9月15日（金）	◆受入れ企業	(株)本陣平野屋、フロンティア観光(株)、ハツ三館、(株)駿河屋魚一、高山市、飛騨市
◆参加学生数	20名	◆主催	岐阜県
◆評価と課題	観光に興味があるが飛騨と接点のない学生にとって1泊2日の企業見学は参加しやすいものだった。一方で、一度接点ができただけでどのように関係性を深めることができるか企業とともに課題が残った。		

2-4 地域産業活性化支援 ④外国人採用勉強会

人材不足に悩む事業者に向けて、留学生の採用支援を実施する名古屋の専門講師を招き勉強会を開催

●事業概要

日本の大学を卒業している外国人留学生の約6割の学生が日本での就職を希望しているにも関わらず就職できている学生は希望者の約半分に過ぎない。一方で高山では労働の担い手・人材不足に悩む市内事業者は多い。外国人採用の検討あるいは理解を深めたい事業者を対象に名古屋で外国人留学生の就職支援を行う会社を立ち上げて張敬清氏を講師に招き、外国人の就職事情と企業の受け入れ方法を考える機会を作った。



▲講義の様子（船坂酒造店・味の与平にて）

●事業の成果

◆開催日	2017年7月28日（金）	◆開催場所	(有)船坂酒造店・味の与平
◆講師	張 敬清氏（株）Keisei 代表取締役	◆参加数	11名（8事業者）
◆評価と課題	「参加者在留資格について体系的に学べた」「輸出等で活躍できる人材に対して、雇用の検討をしてみたいと思う。」等の感想を参加者からいただいた。またこの勉強会をきっかけに外国人留学生の採用に踏み出した事業者もあった。講師曰く、日本人同様に外国人の辞める理由も人間関係とのこと。引き続き当法人では、高山で受け入れる際に過ごしやすそうと思ってもらえるようなコミュニティ作りに取り組んでいく必要性を感じた。		

2-5 地元特産物・農産物活性化支援 **こだわり野菜マルシェ**

「生産者と消費者」「農家同士の交流」「次世代のキャリア形成」を目的に農家のこだわり野菜の販売会を開催



▲都市部から大学生ボランティアも参加



▲野菜を使ったピクルス作り体験

●事業概要

「旬食旬彩」をテーマに安心・安全な飛騨の野菜を食べたいと思う消費者と、自分たちでつくった野菜を地元・飛騨の人に食べてほしいと思う生産者をつなぎ飛騨のこだわり野菜の消費率向上を目指す。

●事業の成果

◆開催場所	まちスポ飛騨高山	◆主催	NPO法人まちづくりスポット
◆開催日時	第1回 8/5(土)6(日) 10:30～15:00 第2回 10/28(土)29(日) 10:00～15:00	◆ボランティア人数	第1回 大学生7名 第2回 大学生1名 社会人1名
◆出店数	第1回 13団体 第2回 17団体	◆来場者	第1回 825名（2日間計） 第2回 1,089名（2日間計）
◆野菜売上	第1回 合計 156,200円 平均 26,033円	第2回 合計 135,365円 平均 22,651円	

◆出店者・協力者感想 (一部抜粋)	(出店者) お客様から「このお野菜は普段どこで買えるんですか？」と質問があった。 このマルシェの意図がしっかり伝わってその通りの反応で感動した！ (出店者) ただイベントやるだけでなく、農家同士の交流というコンセプトが素敵でした。 (学 生) 小さなことも熱心に取り組まれている生産者の姿に触れることができたことは印象的でした。
----------------------	---

●評価と課題

出店が初めてという農家もいたので、消費者に伝えるポイントをまとめた「出店の心構え」やお客様アンケートを事前に作成。それを活用し、来場者とのコミュニケーションが取れている農家が多かった。また、試食を積極的に出したり声かけの多い農家の売上は総じて高い。2018年度以降は農家さんにも運営に関わってもらうことや出店勉強会を開くなど、活性化を支援する方策を検討する。

2-6 新規事業立上げ支援 ①高根地域活性化支援

**人口300名を切った過疎地域を再興。
地場野菜の魅力を地域外から訪れる人に伝え、売上げ上昇を狙う。**

●事業概要

高山市高根町にある「飛騨高山御嶽トレーニングセンター」はナショナルトレーニングセンター高地トレーニング強化拠点に指定されており、トップアスリートから一般競技者まで多くの人が利用する。その利用者に高根町の魅力を知ってもらう足がかりとして地場野菜のPR方法をインターンシップ参加者とともに地場野菜購入する仕組みをつくった。また、NPO法人ワイ・アイ・ケーの活動やトレーニングセンターの状況が地域の人に理解されているかヒアリング調査を実施した。



▲飛騨高山御嶽トレーニングセンターを拠点に活動

●事業の成果

◆受入れ期間	2017年8月12日（土）～9月8日（金）	◆活動区域	岐阜県高山市高根町
◆受入れ先	NPO法人ワイ・アイ・ケー	◆活動拠点	飛騨高山御嶽トレーニングセンター 岐阜県高山市高根町日和田1180番地
◆参加者数	3名（大学生2名、社会人1名）	◆	
◆評価と課題	今回の受け入れで地場野菜の販売向上につながる仕組みができてだけでなく、NPO法人ワイ・アイ・ケーの団体としての課題も見つかった。今後も地域課題解決と組織力強化につながるよう協力していきたい。		

2-6 新規事業立上げ支援 ②車椅子利用者おでかけマップ作成

**車椅子利用者がこれから先も安心して暮らせる地域であるために、
多目的トイレの必要性の周知した。**

●事業概要

車椅子を利用する子どもたちが大人になってからも安心して暮らせるように、その保護者で構成された高山病弱児を守る会が「おでかけマップ」作成に取り掛かった。その足がかりとして、飛騨地域に設置された多目的トイレの機能と使い勝手の良さをまとめた「多目的トイレマップ」を作成。完成したマップを交流スペースに展示し周知を図った。展示を見た事業者から、自社のトイレの改修をしたいと申し出があり、高山病弱児を守る会がアドバイザーとして打合せに参加。現在、改修の準備が進んでいる。



▲改修工事打合せの様子

●事業の成果

◆展示期間	2017年11月17日（金）～11月24日（金）	◆開催場所	まちスポ飛騨高山
◆改修打合せ	2018年 1月30日（火）	◆来館者数	216名
◆共催	ひだママフェスタ実行委員会／NPO法人まちづくりスポット		
◆評価と課題	ひだママフェスタ実行委員会の協力で展示スペースを一部借りて行った。8日間の展示期間中、4日間イベントが開催されていたためもともとの関心のない層にも周知できた。今後活動していくにあたって、更に多くの協力者（専門技術を持った人も含む）が必要になることが予想される。		

3-1 企業とNPOの協働支援

② まちスポ神戸

交流拠点「まちスポ神戸」の運営 委員会参加によるアドバイス

●事業概要

認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸（以下、CS神戸）が地域交流所拠点としてまちスポ神戸（神戸市垂水区）を運営。上記法人と協働する大和リース㈱神戸支店より依頼を受け、運営委員会及び事業検討会でのアドバイザー参加及び地域団体からの助成金審査員を担った。

●事業の成果

- ◆実施期間 2017年4月1日～2018年3月31日
- ◆評価と課題 まちスポ神戸では2017年度からCB（コミュニティビジネス）勉強会がスタート。自立に向けた事業収益確保、基盤整備の検討が始まった。2018年度から動きだす方策として地域住民ボランティアが活動する植栽管理事業を受託するなど、自立に向けた活動が始まっている。

3-1 企業とNPOの協働支援

③ ぎふ太陽の恵みプロジェクト

次世代にクリーンエネルギーの重要性 を伝える環境教育保全活動のサポート

●事業概要

大和リース株式会社が管理しているDREAM★Solarぎふ太陽光発電所。地域貢献事業の一環として、「環境と調和する、人に優しい都市岐阜」づくりを推進するため岐阜市の学生を対象に、施設を安全に見学できるよう保全活動のサポートをした。また、太陽光発電に興味を持ってもらえるよう小学生対象にソーラーカー工作を行った。

●事業の成果

- ◆実施期間 2017年4月1日～2018年3月31日
- ◆評価と課題 これまで広報面の課題として上っていた事業の周知不足に対処するアイテムとして、事業名がデザインされたステッカーとクリアファイルを製作した。視察などで配布し、参加者の記憶に残るようにしていく。

3-2 NPOの運営支援 ①第4回 全国まちスポ交流会

NPOの研修・交流会。 全国7カ所のまちスポが集い、学び、意見を交わした2日間

●事業概要

年に一度、全国の中間支援NPOを対象に開催する全国まちスポ交流会。2017年度は当法人が主催で、富山事務所を開設した富山県にて開催した。2日間にわたり中間支援組織のスタッフとしてのスキル・モチベーション向上のための研修や、お互いの活動の情報交換を行った。

●事業の成果

- ◆開催期間 2018年1月16日（火）～1月17日（水）
- ◆評価と課題 2017年度は1日目、当法人富山事務所が入る総曲輪レガートスクエアの見学。各団体が2016年立てた中長期計画の経過報告、事業発表、情報交換会を行った。2日目は分科会に分かれ、NPO職員としてのスキルを向上するためにトラブル状態にある人同士の解決に導く手法である「メディエーション」とNPOにとって活動を支える仲間や寄付を集めるための「ファンドレイジング」を専門的講師から学んだ。またその後には、各団体の事務局と理事が分かれ、それぞれの情報交換を行った。NPO団体にとって、日々の運営や経営に関して他団体との交流は新しい発見や改善も見つけることが出来る取り組みである。役割に応じた情報交換は今後も継続して実施していく必要性を感じている。



▲全国のまちスポが富山県に集結



▲交流会の様子
（会場：砺波ロイヤルホテル）

3-2 ②まちスポとやま NPOの運営支援 官民連携事業

「医療・健康・福祉」をテーマに官民連携の相乗効果で
市民への高いQ.O.L（クオリティ・オブ・ライフ）の提供



▲ まちなかサロン夏休み企画



▲ 秋の健康カラダづくり後の懇親会

●事業概要

2017年4月1日にオープンした富山市総曲輪レガートスクエア。この区域には、総合ケアセンターを中心に健康と福祉をコンセプトとした様々な施設が集積している。施設が連携し、活性化を図ることを目的に設立された協議会より事務局を主託されたまちスポは同施設にサテライトオフィス「まちスポとやま」を設け、コーディネートを行っている。2017年度は認知度向上に向けて市や各協議会団体とのイベントを開催。生活価値向上だけでなく多くの人が集いにぎわい創出を目的に実施した。

●事業の成果

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
内容・行事		カラダ・姿勢が変わる簡単ボディケア	プレラテンフェスティバル	親子ガーデン2017	まちなかサロン夏休み企画	チャリティ茶会	大手モールフェス	食育講座 秋の味覚を使ったフランス料理 秋の健康講座①、② クイズラリー	看護体験 看護学校を体験してみよう 秋の健康カラダづくり			まちなかサロン春休み企画	合計
数集客	0	60	120	1,000	70	280	100	249	140	0	0	58	2,077

●評価と課題

初年度ということで官民連携事業の目標である認知度アップを図った。特に高齢者と産後期の女性をターゲットにしたイベントと学齢期の子どもが他の世代と交流するものを開催した。官民連携の強みを活かし、参加者からの満足度や継続的なイベント参加も起こっている。課題としては、イベントの調整や広報面でより早い時期から企画を立て行動を起こしていく必要がある。

②まちスポとやま 3-2 NPOの運営支援 まちなかサロン企画・運営

趣味のサークル活動の場だけでなく市民活動促進のための
オープンな交流スペースの提供



▲ゆんたくヨガ部

「ゆんたく」はサロン以外での活動も始めている



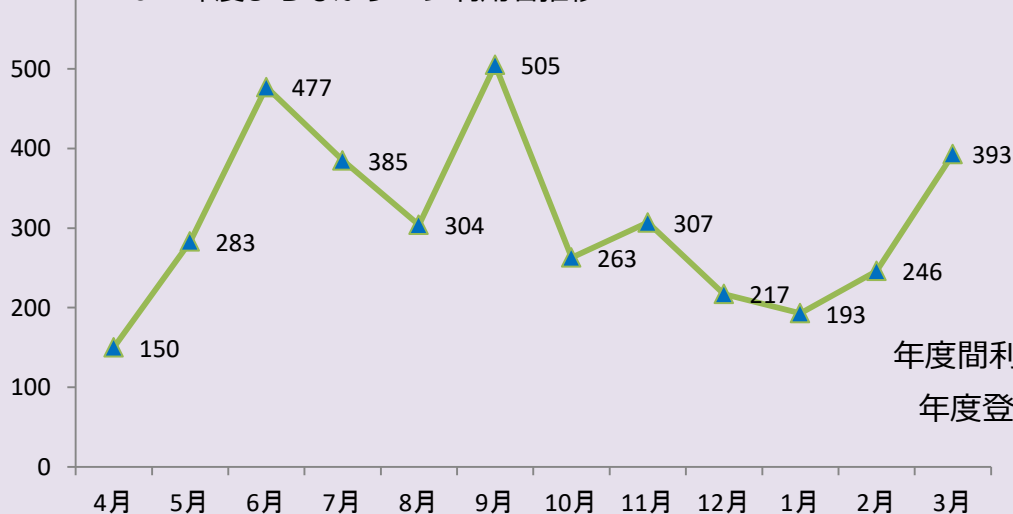
▲赤ちゃんと一緒にヨガを行う「ママ美ヨガ」

●事業概要

総曲輪レガートスクエア内まちなかサロンの運営。活動の場を探している方へスペースの提供だけでなく、団体を形成するためのサポートや相談をしつつ人と人が繋がり強化とコミュニティの形成の拠点を目指す。

●事業の成果

2017年度まちなかサロン利用者推移



年度間利用者合計：3,723人

年度登録団体数：56団体

●評価と課題

2017年度のサロン利用に関しては50を超える登録団体があり、大きな成果となっている。しかし、2017年度の登録団体はまちスポスタッフのマンパワーによる面も強く、継続的な増加は難しい。今後は利用の継続性と登録団体の口コミ等を意識した環境創りとSNSを活用した広報活動が必要である。

②まちスポとやま

3-2 NPOの運営支援 まちなかサロン実績

■ 月別来館者数 (人)

月	開館 日数	午前(8:30-12:00)				午後(12:00-15:00)				夕方(15:00-17:00)				総計			
		男	女	子	計	男	女	子	計	男	女	子	計	男	女	子	計
4月	26	19	58	11	88	22	32	7	61	0	1	0	1	41	91	18	150
5月	26	43	89	18	150	28	71	12	111	9	10	3	22	80	170	33	283
6月	26	25	140	39	204	41	112	10	163	21	74	15	110	87	326	64	477
7月	27	46	54	86	186	64	72	30	166	14	17	2	33	124	143	118	385
8月	24	21	29	123	173	26	38	41	105	9	6	11	26	56	73	175	304
9月	26	32	195	10	237	34	174	6	214	21	28	5	54	87	397	21	505
10月	26	45	87	8	140	14	56	5	75	20	21	7	48	79	164	20	263
11月	26	48	83	3	134	28	69	32	129	20	11	13	44	96	163	48	307
12月	24	32	58	3	93	32	66	5	103	12	8	1	21	76	132	9	217
1月	24	32	82	7	121	15	37	2	54	6	8	4	18	53	127	13	193
2月	24	42	86	3	131	28	34	6	68	7	36	4	47	77	156	13	246
3月	27	30	134	15	179	37	97	36	170	8	23	13	44	75	254	64	393
計	306	415	1,095	326	1,836	369	858	192	1,419	147	243	78	468	931	2,196	596	3,723

■ 1ヶ月あたりの平均来館者数

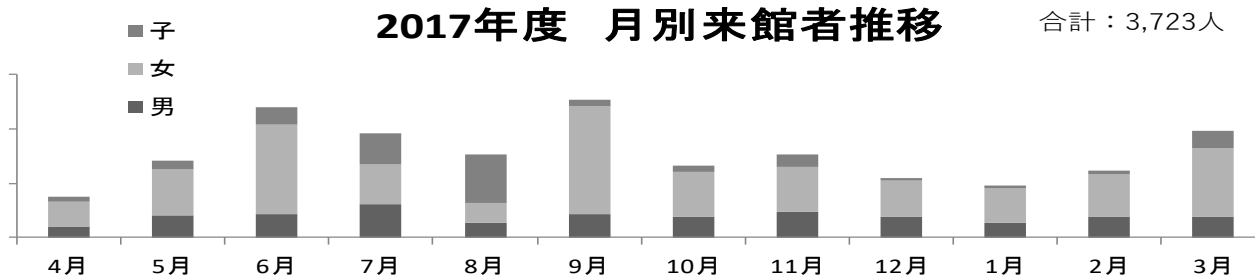
平均	35	91	27	153	31	72	16	118	12	20	7	39	78	183	50	310
----	----	----	----	-----	----	----	----	-----	----	----	---	----	----	-----	----	-----

■ 1日あたりの平均来館者数

4月	0.7	2.2	0.4	3.4	0.8	1.2	0.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	3.5	0.7	5.8
5月	1.7	3.4	0.7	5.8	1.1	2.7	0.5	4.3	0.3	0.4	0.1	0.8	3.1	6.5	1.3	10.9
6月	1.0	5.4	1.5	7.8	1.6	4.3	0.4	6.3	0.8	2.8	0.6	4.2	3.3	12.5	2.5	18.3
7月	1.7	2.0	3.2	6.9	2.4	2.7	1.1	6.1	0.5	0.6	0.1	1.2	4.6	5.3	4.4	14.3
8月	0.9	1.2	5.1	7.2	1.1	1.6	1.7	4.4	0.4	0.3	0.5	1.1	2.3	3.0	7.3	12.7
9月	1.2	7.5	0.4	9.1	1.3	6.7	0.2	8.2	0.8	1.1	0.2	2.1	3.3	15.3	0.8	19.4
10月	1.7	3.3	0.3	5.4	0.5	2.2	0.2	2.9	0.8	0.8	0.3	1.8	3.0	6.3	0.8	10.1
11月	1.8	3.2	0.1	5.2	1.1	2.7	1.2	5.0	0.8	0.4	0.5	1.7	3.7	6.3	1.8	11.8
12月	1.3	2.4	0.1	3.9	1.3	2.8	0.2	4.3	0.5	0.3	0.0	0.9	3.2	5.5	0.4	9.0
1月	1.3	3.4	0.3	5.0	0.6	1.5	0.1	2.3	0.3	0.3	0.2	0.8	2.2	5.3	0.5	8.0
2月	1.8	3.6	0.1	5.5	1.2	1.4	0.3	2.8	0.3	1.5	0.2	2.0	3.2	6.5	0.5	10.3
3月	1.1	5.0	0.6	6.6	1.4	3.6	1.3	6.3	0.3	0.9	0.5	1.6	2.8	9.4	2.4	14.6
平均	1.4	3.6	1.1	6.0	1.2	2.8	0.6	4.6	0.5	0.8	0.3	1.5	3.0	7.2	1.9	12.2

■ 年度別来館者数推移

年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度				
計	3,723							



■ 時間帯別来館者数

年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度				
午前	1,836							
午後	1,419							
夕方	468							

■ 男性・女性・子ども別来館者数

年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度				
男性	931							
女性	2,196							
子ども	596							

②まちスポとやま
3-2 NPOの運営支援 まちなかサロン実績

■ まちなかサロン開館・イベント・稼働数状況

月	平日			土			日・祝			合計		
	開館数	イベント数	稼働率	開館数	イベント数	稼働率	開館数	イベント数	稼働率	開館数	イベント数	稼働率
4月	16	3	19%	4	2	50%	6	0	0%	26	5	19%
5月	15	5	33%	4	2	50%	7		0%	26	7	27%
6月	18	4	22%	4	2	50%	4	2	50%	26	8	31%
7月	16	7	44%	5	3	60%	6	1	17%	27	11	41%
8月	16	10	63%	4	4	100%	4	1	25%	24	15	63%
9月	16	7	44%	4	5	125%	6	2	33%	26	14	54%
10月	16	9	56%	4	5	125%	6	2	33%	26	16	62%
11月	16	7	44%	4	3	75%	6	3	50%	26	13	50%
12月	16	8	50%	3	4	133%	5	2	40%	24	14	58%
1月	15	7	47%	4	4	100%	5		0%	24	11	46%
2月	15	8	53%	4	5	125%	5	1	20%	24	14	58%
3月	17	13	76%	5	6	120%	5	1	20%	27	20	74%
計	192	88		49	45		65	15		306	148	
平均	16	7.33	46%	4.08	3.75	92%	5.42	1.25	23%	25.5	12.3	48%

振り返り

- その他、まちなかサロンの富山市の活動としてまちなか保健室（ままのわ含む）、市民病院出張講座合わせて2,526名の参加者があった。
- 利用者(人数)については、午前から午後にかけて続けて利用される場合、利用開始時間でカウントするため、午後の利用人数に反映されていない。また、同じように夕方まで引き続き利用される場合も、人数に関しては同じカウント方法であるため、稼働率での確認で、サロンの利用状況が分かる。

課題

- 午後からの利用や、休日(日曜、祝日)の利用が少ない状況である。休日に施設内を訪れる方も少ない傾向はあるが、場所の認知が広がっていくことで、新たなイベントを催したり、人の流れを作ることはできるような取組みを進めたい。

■ 月別利用団体登録件数 (団体)

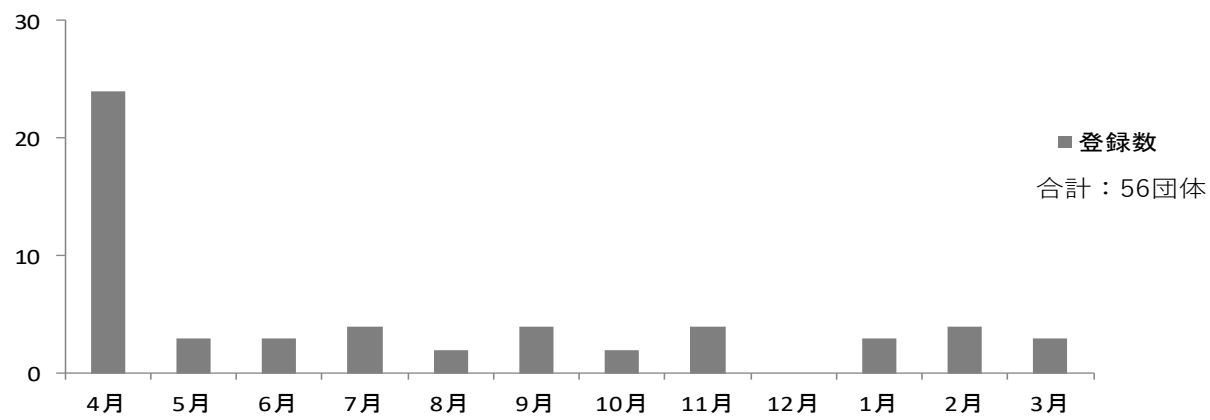
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録数	24	3	3	4	2	4	2	4	0	3	4	3	56

■ 年度別利用登録団体数推移

年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度			
新規	56						
継続	0						
合計	56						

未継続 -

2017年度月別利用登録団体数推移



②まちスポとやま

3-2 NPOの運営支援 まちなかサロン実績

■分野別登録団体数

分野	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度		
保健・医療・福祉	19					
社会教育	7					
まちづくり	1					
観光振興	0					
地域振興(農山漁村・中山間地)	0					
文化・芸術・スポーツ	20					
環境保全	0					
災害救援	0					
安全活動	0					
人権擁護・平和推進	2					
国際協力	0					
男女共同参画	0					
子育て支援	6					
情報化社会	0					
科学技術振興	0					
経済活動活性化	0					
雇用拡充支援	0					
消費者保護	0					
NPO助言・支援	1					
総計	56	0	0	0		0

振り返り

- 健康と福祉のイメージがあり、当初、登録団体も保健・福祉・医療、文化・芸術・スポーツの分野が圧倒的に多かった。
- 様々な団体が交流できるように、こちらから積極的に声かけをしたことで、子育て支援や社会教育などの分野の団体も増えて行った。

2017年度 まちなかサロン相談 実績

■月別相談件数

(件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	15	22	36	16	21	16	13	15	11	18	14	13	210

■年度別相談件数推移

年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度				
上期	126							
下期	84							
合計	210							

振り返り

●2017年度事業別相談実績

相談内容	件数
①交流スペース利用に係る事業	108件
②まちづくりの推進に係る事業	10件
③ネットワーク事業	9件
④人財育成及び研修に係る事業	15件
⑤広報活動に係る事業	23件
⑥その他目的を達成するための事業	45件
合計	210件

登録の際の利用についての相談が最も多く、次いで、何回か利用する中での要望や相談であった。法人格を持っている団体は、新たな利用スペースとして登録される様で、利用についての問合せや相談が多いが、個人でサークル活動をされている方は、規約作成や、広報、参加者募集など活動を広げるための相談対応が主であった。

●相談件数のうち まちなかサロン利用団体別件数

利用団体名	件数	利用団体名	件数
アートオブリビングジャパン	1	とやまシニアライフ応援団	1
白皇山保護園つばさの郷	1	ゆんたく	1
アコースティックくつろぎ研究会	4	サークル樹の子	2
富山子ども劇場	3	ディスコン愛好グループ	1
茶道裏千家淡交会青年部	2	そうごう薬局双代店	1
朝活富山	1	NPO法人富山県腎友会	1
総曲輪ベタンクサークル	3	NPO法人ここらいふ	6
傾聴ボランティアピアの会「ちようちよう」	1	NPO法人コーポラティブハウス木の実	2
シアン21	1	スポーツ吹矢サークル	1
緑線筋痛症北陸支部 虹の架橋	1	とやま肺がん患者サロン「ふたば」	1
RUN伴	1	富山CAP	1
らいちょう熊野	1	三人母ちゃん	3
富山市ウォーキング協会	1	ガイアの集い	1
ママあ	1	野遊会	1

②まちスポとやま

3-2 NPOの運営支援

総曲輪レガートスクエア視察対応

ToyamaとあなたをAmazing

●事業概要

総曲輪レガートスクエアのハード面だけでなく官民連携に関してソフト面での連携等について外部者への興味関心を喚起し、先行モデルとして完成度を高めることを目的に実施している。

●事業の成果

1	4月21日	NPO法人 まちづくりスポット	まちなか総合ケアセンター、看護学校、青池学園、グンゼスポーツ、まちスポとやま	社内研修
2	4月21日	大和リース株式会社滋賀支店	全施設	同上
3	4月22日	大和リース株式会社沖縄支店	全施設	同上
4	5月2日	滑川市議会議員	全施設	旧総曲輪小学校跡地利用事業のこれまでの経験と概要についてご教示頂きたい。滑川市において、富山地方鉄道中滑川駅前周辺の土地が遊休地となつて4年の月日が経過しており、今後の土地利用計画の参考とするため、今回、富山市の官民連携の手法等に関してご教示ください。
5	5月9日	富山県議会議員厚生環境委員会	富山市、看護学校、青池学園	政策立案など議会活動の参考としたい。
6	5月29日	大和リース株式会社 大阪・群馬・大分・奈良・広島各支店長		社内研修
7	6月3日	岡山市大和リース株式会社岡山支店	全施設	中心市街地の学校跡地活用事例である本事業について、休日の施設利用状況、賑わい等の視察を行いたい。また、併せて官民連携事業を進めるうえで組織づくりや資金計画、具体的に実施・検討している事業等についてご教示ください。
8		大和リース株式会社岡山支店		
9	6月7日	大和リース株式会社群馬支店	全施設	総曲輪レガートスクエアの事業スキーム。総事業費。建築に当たり苦労があったところ(障害など)。施設管理、まちスポの取り組み。
10	6月12日	大和リース株式会社札幌支店	全施設	本件、官民連携事業を視察し、学ぶことにより今後の北海道地区の行政に対し、本件の取り組みをPRし、自社の事業展開に生かしていくため。
11	6月16日	富士通株式会社	まちなか総合ケアセンター、まちスポとやま	ITを使って住民の方の生活をより良くしたいと考えている。常民の方向けの新しいサービスを作るうえで、住民の方がどういった点を改善してほしいと感じているのか把握したい。
12	6月30日	大和リース株式会社	まちなか総合ケアセンター、まちスポとやま、グンゼスポーツ	富山市まちなか総合ケアセンターの機能。まちスポとやまが実施するイベントや協議会での役割りについて。
13	7月14日	南砺市福野赤十字奉仕団	まちなか総合ケアセンター、看護学校、まちスポとやま、青池学園	福祉・介護・看護・防災・健康づくり分野における研修を目的としている。総曲輪レガートスクエア建設の理念を聞きたい。防災を配慮した施設や設備があれば伺いたい。各施設の特色ある箇所の見学と説明。
14	8月25日	大和リース株式会社 設計	まちなか総合ケアセンター、青池学園、ナチュラルカフェ広貴堂、グンゼスポーツ	大和リース北陸エリア設計課員対象の見学会
15	9月7日	大和リース株式会社横浜支店	まちなか総合ケアセンター、グンゼスポーツ、ナチュラルカフェ広貴堂	社内研修
16	9月9日	富山県建築士会富山支部	まちなか総合ケアセンター、ナチュラルカフェ広貴堂、グンゼスポーツ	再開発の先進事例である総曲輪レガートスクエアの視察を希望。
17	10月26日	高山市社会福祉協議会	まちなか総合ケアセンター、まちスポとやま、青池学園	地域コミュニティの活性化とネットワークや関係機関との連携、総合ケアセンター並びにまちスポとやまを中心に見学希望
18	10月28日	こまがね市民活動支援協会	まちなか総合ケアセンター、まちスポとやま	市民活動支援のあり方等について伺いたい。
19	11月1日	富山市立芝園小学校2年生	学校法人 青池学園	街歩き
20	11月5日			
21	11月20日	婦中地域自治振興連絡協議会	まちなか総合ケアセンター、青池学園、ナチュラルカフェ広貴堂、富山市医師会看護専門学校	安心して子どもを産み育てることができ、いつまでも元気で自立し安心して暮らすことができるまちづくりについて伺いたい。
22	12月7日	大和リース株式会社さいたま支店	まちなか総合ケアセンター	今後公民連携が推進される中で先進事例である富山市、総曲輪レガートスクエアの視察を希望
23	2018年1月16日	まちづくりスポットネットワーク(計6団体)	全施設	全国交流会

●評価と課題

2017度の視察件数は。総計23件、238名であった。まちスポとやまでは目標を45万円(1名あたり1,500円)を達成した。2017年度は開業年ということで注目された面が大きい。2018年度以降はハード面の新規性だけではなくソフト面の向上など視察を呼び込む工夫が必要である。

②まちスポとやま

3-2 NPOの運営支援

ギャザリングスペースの運営

バル、ギャラリー、和室、屋根付き貫通通路等多様な使い方に対応した活動の活性化と交流が目的のレンタルスペースを運営



▲バルを使った飲食パーティーの様子



▲屋外イベント（屋根付き貫通通路）

●事業概要

総曲輪レガートスクエア内において販売や有料イベントにも対応したスペースを提供し、富山市内の市民活動や個人事業主等の活性化を図る。

●事業の成果

■月別利用回数

月	開館日数		①9:00～13:00					②13:00～17:00					③17:00～21:00					参加人数計
			和室	バル	ギャラリー	貫通通路	計	和室	バル	ギャラリー	貫通通路	計	和室	バル	ギャラリー	貫通通路	計	
4月	平日	16					0					0					0	
	休日	10					0					0					0	
5月	平日	15					0			1		1			2		2	10
	休日	11	2		1		3	1		1		2					0	7
6月	平日	18			2		2			3		3		1	1		2	36
	休日	8				1	1				1	1					0	120
7月	平日	16			2		2			1		1			2		2	39
	休日	11				1	1				1	1					0	1,000
8月	平日	16					0		1			1		1	1		2	20
	休日	8					0					0					0	
9月	平日	16	1	2	3		6		3	3		6		1	1		2	98
	休日	10				2	2				2	2					0	508
10月	平日	16	1		3		4			4		4			1		1	50
	休日	10				1	1			2	1	3		1	1		2	218
11月	平日	16			2		2			1		1					0	26
	休日	10		1			1		1			1			1		1	11
12月	平日	16			3		3			1		1					0	15
	休日	8					0					0					0	
1月	平日	15			1		1		1	2		3		1	1		2	23
	休日	9					0					0					0	
2月	平日	15			2		2			3		3					0	23
	休日	9					0					0					0	
3月	平日	17			4		4	1		4		5			1		1	47
	休日	10	1	1	2		4	1	1	2		4			1		1	29
計		306	5	4	25	5	39	3	7	28	5	43	0	5	13	0	18	2,280

補足: ①+②、②+③、①+②+③利用時には、それぞれ1カウント加算されている。

●評価と課題

場所の認知が少しずつ広がってきていることやキャンペーンの効果もあり、利用件数が増加しつつある。しかし、まだ利用が少ないので、定期的に利用してもらえる方(店舗)を開拓し、利用してもらうだけでなく、定期利用者に対しての特典を付けるなど、利用者がより利用しやすい方法を模索し提案していく。また、イベント企画を立て、イベントを定期的に開催し、広報することで様々な利用ができることを知ってもらえる機会を積極的に作っていく。

4-1 まちそだて相談

想いを形にするお手伝い。 NPO法人や市民活動団体の設立を後押し。

●事業概要

NPO法人や市民活動団体の設立を検討している個人・団体・サークル活動・ボランティア活動を始めたい人の相談を受付。NPOや市民団体と頼り頼られながら事業を発展させるような関係を築く。

●2017年度相談件数（事業別）

相談内容	件数
①交流スペース利用に係る事業	32件
②まちづくりの推進に係る事業	116件
③ネットワーク事業	21件
④人材育成及び研修に係る事業	85件
⑤広報活動に係る事業	27件
⑥その他目的を達成するための事業	20件
【合 計】	301件

●相談件数のうち まちスポ飛騨高山利用団体別件数

利用団体名	件数	利用団体名	件数
HIDAKKOPROJECT.	3件	まちのおながくしつ	1件
NPO法人りびんぐ	3件	NPO法人ムラのミライ	2件
合同会社ウッドビルダー	2件	飛騨・高山アニメファンイベント実行委員会	1件
アニマルレスキュー飛騨	9件	飛騨高山ボードゲームの会	2件
NPO法人活エネルギーアカデミー	1件	NPO法人飛騨高山わらべうたの会	10件
おたがいさまひだ	1件	もふっこひだ	3件
陰ヨガ空町	1件	ナカニワ	1件

■月別まちそだて相談件数（目標300件）（件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
相談件数	17	36	41	31	27	24	15	22	28	19	19	22	301	47

■年度別まちそだて相談件数推移 ※まちそだて相談2013年度より開始

年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
上期	21	81	88	131	176
下期	32	43	103	123	125
合計	53	124	191	254	301

■年度別NPO法人設立支援件数推移

年度	数
2013年度	2
2014年度	4
2015年度	3
2016年度	0
2017年度	0
計	9

■設立支援NPO法人 活動分野

活動分野	数
保健・医療・福祉	3
NPO助言・支援	3
子育て支援	1
まちづくり	1
地域振興（農山漁村・中山間地）	1
計	9

●評価と課題

相談は学生（高校生や団学生）、ママ世代、行政からの相談が増えた。まちスポ飛騨高山の利用登録団体や繋がりのある任意団体から、NPO法人設立の相談があったがメリット、デメリット等を考え2017年度NPO法人設立までには至らなかった。引き続き団体メンバーの想いを聞きながら支援を続けていく。

4-2 まち・ひとそだて講座 助成金申請へっちら講座

事業の拡大・安定化を目指して、
4つのポイントを伝える市民団体に向けて開催する講座



▲第一回は文書の書き方を学んだ



▲第二回は自団体の強み・弱みを把握

●事業概要

市民団体の活動の発展・安定化を図ることを目的に、「申請書の書き方」「予算の立て方」など市民団体より要望のあったスキルアップすべき課題を4つの連続講座として開催。

◆開催場所	まちスポ飛騨高山	◆主催	NPO法人まちづくりスポット
◆定員	最大5団体 (各団体2～3名の参加)	◆参加費	1団体4,000円 (まちスポ利用会員1,000円引き)

日程	タイトル	内容	参加数	講師
10月1日(日) 13:30～17:00	思いを文章化編	自分たちの活動やこれからやってみたい事業が的に書くに伝わる申請書を目指して文章の書き方や整理のポイントを学んだ。	2団体	NPO法人地域の未来・志援センター 三ツ松 由有子氏
11月2日(木) 13:30～17:00	客観的に強みと弱みを知る編	活動の発展・継続のため団体の強み・弱みを客観的にとらえ、目標に近づくための手がかりを探す方法を学んだ。	3団体	まちづくりスポット神戸 (認定NPO法人CS神戸) 向山 良子氏
11月24日(金) 10:30～12:00	お金の考え方編	信頼を得るために必要な会計処理。助成金申請だけでなく、年間予算の立て方や注意点、報告方法を学んだ。	4団体	NPO法人まちづくりスポット 谷前 久美子
12月11日(月) 10:30～12:00	伝え方編	活動や事業の素晴らしさ・必要性を最大限伝えられる魅力的な話し方を学んだ。	4団体	ひだ経営コンサルティング 丸山 学氏

●評価と課題

参加した市民団体がこの後のまちスポ飛騨高山助成金の申請にも挑戦。新しい事業に取り組むための一歩につながった。

4-3 専門講師による講座の開催 出張キャリアナビ講座

子育ての経験をプラスのチカラに なりたい自分の実現を応援するセミナー

●事業概要

子育て中の母親は、孤立感・無価値感を抱えやすい。そこで飛騨地域で子育てをしている女性へ向け、育児の経験を社会生活に活かせる方法を、キャリアアカウンセラーと共に考える時間を設けた。子育て中にも大切な価値と身につくスキルがあり、それらをどのように仕事に活かしていけるか、事例を交えて考え社会との繋がりを感じてもらった。



▲子育て経験を仕事に活かせる方法を学んでいる様子

●事業の成果

◆講座名	出張キャリア☆ナビ in 飛騨高山	◆開催場所	まちスポ飛騨高山
◆開催日時	2017年11月20日（月） 10:30～11:30	◆参加数	11名
◆講師	岐阜県 女性の活躍支援センター・キャリアアカウンセラー	◆参加費	無料
◆評価と課題	セミナーは参加者同士で話し合う時間もあり、お互いの状況や悩み、思いなど共有することができた。参加者からは「また、このような学びの機会を設けて欲しい」との声が多数あり、今後も子育て中の母親向けに情報交換、リフレッシュ、社会復帰への不安軽減・意欲向上の場を設けたい。		

4-4 視察の受入れ

まちづくりスポットの設立経緯・ 各事業の取り組み事例の紹介

●事業概要

地方自治体や大学生、大学教授から合計4団体（48名）の視察受け入れを行った。



▲視察の様子

●事業の成果

日程	団体名
6月19日（月）	福井県大野市町内会
8月 2日（水）	和歌山県海南市議会
2月24日（金）	Local Business Project
3月 7日（水）	名城大学外国語学部教授 他
3月28日（水）	池田町まちづくり工房運営委員会

4-5 インターンの受入れ

新たな地域づくりを担う若者の育成を目的に 日本人大学生や留学生のインターン受入れを実施

●事業概要

日本に限らず海外の学生にも日本の地方のNPOや地域づくりに関心を持ってもらおうとインターンシップの受入れを行っている。2017年度は日本人学生のみとなりましたが、学生の興味関心に合わせて内容をアレンジしている。

●インターン生詳細

◆町野沙希絵 日本福祉大学国際福祉開発学部 3年 期間：2017年4月12日～5月19日 地域づくりに関心を持ち、まちスポの運営方法や取り組みを知りたいとインターンに参加。
◆下出春菜 明治学院大学社会学部 2年 期間：2017年8月5日6日、8月17日～23日 NPOのマネジメントを学んでおり、地元である飛騨のNPOで研修を希望。

4-6 研修・講演の開催

企業とNPOの協働方法や地域づくりのノウハウを伝えるための研修や講演を開催

●事業概要

2017年度、大学生に対する研修やNPO活動の啓発活動、スキルアップを目的とした講座等を行った。



▲Nたま高山研修の受け入れ（認定NPO 法人名古屋NPOセンター主催）



▲飛騨への移住交流会「もっと飛騨！！トークセッション&交流会」（岐阜県主催）



▲NPO×企業ソーシャルビジネス実践講座（関西大学イノベーション創生センター主催）

●事業の成果

目 的	実施団体	参加 合計	合計 件数
受入研修	①愛知淑徳大学（久保田ゼミ）（9月2日～4日・7名） ②日本福祉大学（小松ゼミ）（9月9日・7名） ③認定NPO法人名古屋NGOセンター（10月7日～9日・12名） ④名城大学経営学研究科・テイシモ氏（2月11日～2日・1名）	27名	4件
講演依頼	①第23回社会福祉交流研究集会実行委員会（8月17日・230名） 「トークセッション～会場のみなさんとともに～地域の人々のスイッチを入れる」 ②岐阜県（12月17日・30名） 「もっと飛騨！！トークセッション&交流会」	260名	2件
講師派遣	①関西大学イノベーション創生センター（5月11日・7月5日・43名） 「NPO×企業ソーシャルビジネス実践講座（ファシリテーター講師）」 ②NPO法人ぎふNPOセンター（7月20日・18名） 「達人から学ぶ！伝えるコツ！広報力アップ研修」 ③NPO法人ぎふNPOセンター（8月28日・18名） 「取る前に聞いておく 認定NPO法人を学ぶサロン 認定NPO法人に関する勉強会」 ④一般財団法人飛騨高山大学連携センター（8月29日・14名） 「東洋大学国際観光学部矢ヶ崎ゼミと市内若手経営者等の意見交換会」 ⑤花里まちづくり協議会（9月29日・8名） 「チラシ作成講座」 ⑥加子母むらづくり協議会（10月26日・49名） 「域学連携×女性の活躍 かしも「学生との女性懇談会」」 ⑦NPO法人泉京・垂井（11月25日・26日・12名） 「あどぼの学校 ぎふ 第3回講座 ～人々の想いを活動にする～」 ⑧名城大学キャリアセンター（12月14日・6名） 「外国人留学生就職促進プログラムインターンシップ報告会」 ⑨認定NPO法人名古屋NGOセンター（2月2日・20名） 「企業とNGOの連携促進シンポジウムin名古屋」	231名	9件

◆評価と課題

2017年度、講師として依頼を受けた研修セミナーが9件。高山市内外ともに招いていただくことが多くなった。（2016年度6件）まちスポの設立のきっかけを伝える「NPOと企業の協働事例」の発表は当法人設立当初より各セクターに関心をいただけている。また、2017年度は市内外の地域協議会にも招かれることが多く、地域の課題に迅速に取り組む中間支援団体の取り組みに注目された。

4-7 まちスポ飛騨高山助成金

飛騨地域のNPOや市民活動団体に対し、新しい活動を始めるための後押しとなる助成金の交付。



▲団体による申請内容の発表の様子

●事業概要

まちスポに寄せられた寄付金を原資に、2014年度より飛騨地域のNPOや市民活動団体の活動を応援するため助成金を設置。2016年度までは助成を1団体1回限りとしていたが、今年度より初めてまちスポの助成金を申請する団体対象の「チャレンジ助成金」と、過去にまちスポの助成を受けた団体対象の「ステップアップ助成金」の2種類を設置。新規及び継続した活動の後押しをする事ができた。

●事業の成果

団体名	助成活動名	助成金額	種類
飛騨高山整膚癒しの会相合愛	『整膚「高根のくとい館」健康び〜ん』 イベントに足を運ばない人にも整膚を知りセルフケアをしてもらえるようになってもらうため、新しく事業を開始するための運転資金を申請。	50,000円	チャレンジ
ひだまりの会いのちゆたかに飛騨	『創作朗読劇 ひろがりゆくいのち』 来年活動20周年を迎える。団員の経験や見聞きした患者やその家族の思いを取り入れたオリジナル創作朗読劇を開催するための活動資金を申請。	50,000円	チャレンジ
語り部ねっと飛騨高山朗読会	『語り部ねっと飛騨高山朗読会第10回朗読会』 日本語の美しさや語りの面白さを伝えるため朗読を行っている。今年度で節目となる第10回朗読会を開催。その活動資金を申請。	25,000円	チャレンジ
こころウキウキ実行委員会	『超新祭〜様々な立場の人が集まって、対等に混ざり合い何かが生まれていく場所〜』 飛騨地域で暮らす中・高生が多世代と繋がり、視野を広げる機会を作るためのイベントを開催。その運営費を申請。	25,000円	チャレンジ
NPO法人思い出の絵本展	『出前絵本展』 2014年にまちスポ助成金を利用しリーフレットを作成。団体の認知度、賛同者が増加した。個人の機材を使って活動してきたが、団体の機材を用意し、今後も出前絵本展をやっていくための購入費を申請。	50,000円	ステップUP

5-1 メディア掲載・賛助会員・寄付状況

ホームページ・SNSによる情報発信、ボランティア及び賛助会員の募集。会報紙発行による活動報告・情報発信

●事業概要

チラシ作製やホームページ、SNSなど、各種媒体を利用し、イベントや活動内容を報告。フェイスブック配信、新聞・雑誌への掲載、毎月会報を発行し、活動報告と情報発信を行った。

●事業の成果

媒体名	掲載数
新聞	40件
雑誌	26件
テレビ	3件
ラジオ	10件
【合 計】	79件



▲中日新聞 2017年9月20日(水)
介護のためのほっとする談話室



▲会報

■月別賛助会員・任意寄付者件数(個人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
登録件数	48	9	13	7	4	4	52	1	7	6	6	2	159	9

■月別賛助会員・寄付件数(法人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
登録件数	8	4	2	2	4	1	0	0	2	1	4	3	31	5

■賛助会員構成

	件数	金額
個人	148	450,000
法人	29	215,000
合計	177	665,000

■任意寄付構成

	件数	金額
個人	11	44,100
法人	2	19,488,980
合計	13	19,533,080

■年度別賛助会員件数推移 ※2012年度は11月～3月分

年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
個人	115	137	157	232	150	148
団体	0	24	27	24	26	29
合計	115	161	184	256	176	177

振り返りと課題

まちスポの事業(セミナー、介護談話室、ひだインターン留学など)やイベントに係わった企業や個人から今後も継続して活動をして欲しいと、賛助会員や任意の寄附が増えた。来年度は、より地域の活動を応援できるよう地域の企業や住民の寄附を増やしたい。